

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (四国)	良く なっている やや良く なっている	美容室（経営者）	来客数の動き	・卒業式や入学式等の学校行事が多く、来客数が増えている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・3月前半に商店街全体で開催したイベントには観光客も多く、飲食店を中心に来街者でにぎわっていた。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・個人消費動向と株価の動きは相関関係が強く、昨年半ばまでの雰囲気とは雲泥の差がある。百貨店の好調が目立ってきたことに期待を持っている。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・暖かい日が増え、人出が活発になっている。店頭での販売にはまだ厳しさが感じられるが、物産展や参加型イベント等が好調で、にぎわい創出に貢献している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・来客数、販売量ともに増えている。繁華街の人出も多い。
		百貨店（総務担当）	来客数の動き	・春物の婦人・紳士衣料品の動きが好調で、来店客数も前年比でプラスで推移している。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・市街中心部に駐車場が完成し、来客数が増えてきている。
		コンビニ（商品担当）	来客数の動き	・客単価は変わらないが、来店客数が増えている店舗が多い。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・下見を含め、購入意思を持って来店する人の割合が高くなってきている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・花見シーズンが近づき、来店客数が多くなっている。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・宿泊客が増え、宴会などの利用も増えてきた。予算についても料理や催し物にお金をかける傾向にある。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・引き続き、高額商品への引き合いが多い。
		設計事務所（職員）	販売量の動き	・公共事業の発注が堅調に推移しており、受注量に応じ、売上も前年並み又はやや増加している。年度末は売上が伸びるが、例年以上に良好である。
	変わらない	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・花見シーズンで人出は少し増えるが、一時的なもので、景気が良くなっていると感じるほどではない。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・料飲店の客は少なく、引き続き販売量が低迷している。
		スーパー（店長）	単価の動き	・青果の単価が下落しており、数字的にも厳しさが出てきている。景気の上昇は実感できない。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・特売の強化や競合店の閉店により来店客数は増えているものの、客単価は下落傾向が強い。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・建設業従事者の来店が目立つようになってきているが、余分なものを買うという動きはない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・政府の経済政策効果は地方まで及んでいない。来店客数は少なく、厳しい状態が続いている。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・気温の上昇とともに春物衣料に動きがみられるが、前年比はマイナスで推移している。1人当たりの購入点数が伸びず、厳しい状況が続いている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・政府の経済政策による景気回復感が購買意欲には繋がっていない。少し上向き気配はあるが、ほとんど変わっていない。		
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車販売はハイブリッド車への代替需要が継続している。		
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・最需要期の3月の売上増を期待していたが、販売量、来店客数共に予想を下回った。		
その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・大きく変わらない。		
スナック（経営者）	お客様の様子	・株価上昇で少し利益を得たが、長続きはしないだろうという声が多い。それが遊興費に使われる様子もない。		
都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・政府の経済政策によって雰囲気は少し良くなった気がするが、売上の伸びについては非常に弱い。		
旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・国内個人旅行の販売は上向いているが、円安で海外個人旅行の需要が落ち込んでいる。旅行全体の売上は、あまり伸びていない。		

	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・平日の来場者数が伸び悩んでいる。また、客単価の下落が続いている。	
	競艇場（職員）	販売量の動き	・売上は前月比3.4%増、3か月前比9.3%減となった。今月は大きなレースもなく、ファンの関心が薄かった。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・卒業式や入学式があって一時的に客単価は上昇しているが、来店客数の減少が続いている。	
	設計事務所（所長）	販売量の動き	・特になし。	
やや悪くなっている	乗用車販売店（役員）	競争相手の様子	・主力車種の販売は好調に推移しているが、全体としては前年を割っている。エコカー補助金の終了以降、景気が良いとはいえない状況が続いている。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前と比べると、3千円～4千円台の利用が減り、千円台での利用がメインになっており、客単価が下落している。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・タクシー利用客は、ますます減っている。昼も夜も待ち時間が長く、乗車があっても近距離が多く、売上が増えない。	
悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・前年と比べて店頭売上、外商売上ともに悪く、特に外商が足を引っ張っている。	
企業動向関連 (四国)	良くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	それ以外	・北米を中心にシェールガス等エネルギー関連の引き合いが一層強まっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・太陽光発電設備の建設は買取価格が下がるため、駆け込み需要が多い。食品や電子関係の受注も増えており、非常に好調である。
やや良くなっている	食料品製造業（商品統括）	それ以外	・政府の経済政策が景気を良くするために有効と感じられる。原材料価格等の値上がりの情報もあるが、それを上回ると感じる。	
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・政府の経済政策効果か、新製品投入効果か分からないが、先月に続いて今月も売上が急増している。特に高価格商品が伸びており、小売店の景況感も上向きである。
	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は好調であるが、消費税増税後もシェアを確保するため業界内での競争が激しく製品価格安が続いている。一方、円安に加えて日本とアメリカの住宅需要が増えてきたことから材料高が発生している。	
	電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・官公庁・大学や大学付属病院向けの販売が年度末の駆け込み需要があって上向いている。	
	通信業（部長）	取引先の様子	・年度末であることや円安効果により、輸出産業を中心に需要が伸びている。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・株価上昇に伴い、富裕層の購買意欲が高まっているようで、小売業の売上がやや増加している。	
	不動産業（経営者）	取引先の様子	・ハウスメーカーや建売業者から問い合わせが増えており、取引先によると広告の反響が大きく、モデルルームの来場者が増えているという話を聞く。	
	広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・既存の広告媒体については、比較的好調である。	
変わらない	農林水産業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・市場流通量が潤沢で供給過剰であることに加え、小売店の店頭売価が高めに推移しているため引き合いは弱い。	
	鉄鋼業（総務部長）	受注価格や販売価格の動き	・復興関連のスポット受注はあるが、円安のメリットはまだ現れていない。受注価格を引下げても、同業他社がさらに安く提示しており、厳しい。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・政府の経済政策効果は現れていない。	
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・相変わらず、取引金額は厳しい。	
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・受注量は例年の年度末とほぼ変わらないが、昨年よりも若干減少している。	
	広告代理店（経営者）	受注量や販売価格の動き	・毎年3月は広告受注が多く、今年も例年と変わらない。	
やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	取引先の様子	・今月の取引先の財務状況は、3か月前と大きな変化はない。心理面ではプラスがあると思われるが、まだ数字に表れていない現状である。	
		受注価格や販売価格の動き	・受注はまだ悪く、円安により原料の油・パルプ・古紙が値上がりしてきた。製品価格を上げたいが小売が強く、引上げられるか心配している。	

		輸送業（営業）	競争相手の様子	・大手競合業者の中に資金力とスケールメリットを生かし、破格運賃を設定したキャンペーンを展開するところもあれば、積載効率を高める為に貨物の種類を限定、輸送スピードアップという付加価値を売りに値上げに踏み切ったところもある。業界内で値下げと値上げが同時発生しており、顧客は業者選定に苦慮している様子である。
	悪くなっている			
雇用 関連	良くなっている			
(四国)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業）	求人数の動き	・新年度の求人がやや増えている。雇用形態は様々で、新卒正社員よりも、ある程度社会経験を積んだ基礎力のある中途採用や契約雇用の求人が多い。
		求人情報誌（営業）	採用者数の動き	・業務受注量等の増加により、中途正社員の求人が増えてきている。即戦力としての経験者の求人が多い。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は高水準で推移し、正社員の割合も初めて4割に達するなど好調だが、小規模事業所からの求人が大多数を占め、採用条件は向上していない。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数は、昨年に比べて大学向け、短大向けともに約1.3倍になっている。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・新年度の求人需要はあるが、年度末で契約満了のものもあり、総合的には現状維持となっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・例年、3月は売上確保や予算消化のために広告出稿が増えるが、自動車販売店以外は通常月のような感じであった。飲食街の人出も少なく消費活動は低調のようだ。
		職業安定所（職員）	それ以外	・2月の月間有効求人倍率は0.93倍で、3か月前と変わらない。
	やや悪くなっている	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・最近の求職登録者に、リストラや早期退職制度で退職した人が数名いた。業種間格差はあるが、今後も同様な理由での求職登録者が増えると思われる。
	悪くなっている	-	-	-